

留学体験レポート

国際学部 2年 鈴木大号

1. はじめに

私自身の英語の能力を向上させることと、アメリカの文化を身をもって体験して行くことを目的として、アメリカのセントラルミズーリ大学に留学しました。滞在期間は8月23日から12月6日までの約3か月半でした。このレポートではアメリカでの生活、留学先での授業、課外活動について書きたいと思います。

2. アメリカでの生活

私たちはセントラルミズーリ大学の敷地内にあるホージーとニッカーソンと呼ばれる2つの寮にそれぞれ分かれて生活しました。ルームメイトは同じ留学組の人と一緒にいるもの、周りはほとんど現地の学生であったため最初の頃は非常に緊張していました。また、トイレとシャワーが隣の部屋と共有であったため、慣れるまで少々時間がかかりました。食事は基本的にトッドホールと呼ばれる食堂に行き済ませていました。ある程度のメニューは固定であるもののバラエティーに富んだ食事ができ、サンクスギビングや12月の頭にはターキーやクリスマス料理が振舞われていました。日用品を購入したいときは毎週火曜日に来るマイクロバスに乗り、ウォルマートと呼ばれる大型スーパーマーケットへ行き調達していました。ウォルマートは品ぞろえが豊富で値段が安く、とても便利な施設でした。

3. 授業について

授業は週5日あり、リーディング、ライティング、コミュニケーションスキル、グラマーを中心にアメリカンカルチャー、アメリカンヒストリー、日米関係、スピーチクリニックを受けました。先生方の指導はとても分かりやすく、着実に自身の英語スキルを上げることができました。クラスには日本人だけでなく韓国人やサウジアラビア人の方々がおり、ディスカッションやペアワーク、グループワークを通して関わり、仲良くなることができました。初めの頃は他国の方々と上手くグループワークを行うことができませんでした。次第に慣れ積極的に取り込むことができるようになりました。

4. 課外活動について

留学期間中に何度か課外活動を行う機会がありました。トルーマン大統領の博物館やゴルフ、ショッピングモールへ買い物、ボンファイア、ハロウィーンのカボチャ作成、美術館など、アメリカならではの体験や文化を知ることができました。このような課外活動を通して今回の留学はとても有意義であったと思います。また、体験していない活動が他にも多々あると思うので、いずれ体験してみたいです。

留学体験レポート

国際学部 2年 鈴木大号

5. おわりに

今回の留学に協力して下さった多くの方に感謝しています。留学資金を出してくれた親や、留学の選考やビザの申請に協力して下さった先生方など多くの方々からの支援があったからこそ留学できました。今回の留学で学んだ多くのことを今後の生活に生かし、引き続き自身の英語スキル向上に力を入れて頑張っていきたいと思います。